



「前期」はじまる

昨日の学級タイムは、いよいよ日比谷の「前期」が本格的に始まったなあという感じだったが、みんなもそんな印象を持ったのではなかろうか。

連絡事項や決めることがけっこうたくさんあったが、それらの懸案があらかじめ後ろの黒板に整理されていたから、それぞれの議題を持ち寄った委員・係の人が、そのことをちゃんと意識して、バランスよく議事を進めてくれていたようだ。だから、時間内にやらなければならないことを、きちんとやり終えることができ、うまく進んだ学級タイムだったといえるのではないかと思う。ちなみに、●●くんが席が黒板のそばだったこともあってか、終わった議題にチェックを入れてくれたが、そういう臨機応変の協力はなかなかイイよね。そういうことが一つ一つ積み重なって、二年間を過ごすクラスの形ができてゆくのだろう。

*

合唱の曲は、「吹雪」と「どちりなきりしたん」に決まった。「吹雪」は毎年歌うクラスがあり、あの吹雪のような力強く、かつ身体が自然に動いてしまうようなリズムを、クラスが一つになって表現できるかどうかのポイントになりそうだ。躍動感があり、高まりのある曲で、一曲目の選択としては印象的でもとてもイイのではないかと思う。

一方、二曲目に歌う曲として決まった「どちりなきりしたん」という曲は、今までの合唱祭では聞いた記憶がない。●●さんが言っていたように、日比谷の合唱祭では初めての演奏ということになるのかも知れない。早速

YouTubeで検索してみたが、IからVまであって一体どれを演奏するのか分からないが（多分IV?）、どれを演奏するにしても、品性が高く、静謐な雰囲気をかもし出している我が25Rにはピッタリな感じである……というのは大ウソ（笑）で、あんな上品で繊細な曲を、諸君は歌い上げることができるのだろうか、担任としてはかなり心配な印象である。でも、あれが歌いこなせれば、かなりスゴイ！といった感じになるに違いない。

しかし、●●くんの発言からは、かなり自信がありそうな雰囲気が感じられたし、●●さんも「先生、音楽の授業を見に来て下さい」と、これまた自信がありそうな発言をしていたから、まあ何とかなるのであろうか…？

みんなの（顔を伏せた状態での）多数決で選曲したが、司会をしていた●●くんと●●くんはかなり気を遣っていて、手を挙げる人が少ない曲の時も、一応挙手の数をカウントしている時間を見計らったりして、その曲を提案してくれた人に配慮した進行をしていて、なかなか立派であった。練習するのにふさわしい、やりがいのある曲が決まったから、あとはしっかり協力して仕上げていこう。

*

体育祭の主要競技のメンバーも、●●くんと●●さんを中心にほぼ決まった。クラスTシャツのデザインは公募になったようだが、思いきって素敵なデザインを提案しよう。それが、星陵祭の時にも、球技大会の時にも、25Rを一つに結びつけるものとなって、この一年を思い出深いものにしていくのだから。